

## 令和5年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立三川内中学校		作成者	職名	教頭
電話番号	0956-30-8545			氏名	田川秀樹
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）					
4月	実施テーマ	年度当初の学校としての服務規律に対する心構えの確認 それに対する個人の目標設定			
<u>取組の評価・改善点</u> 4月に校長の学校経営説明の中で「チーム三川内」として学校の服務規律についての共通実践事項の確認を行った。 ○体罰の禁止 ○交通事故を起こさないための行動 ○わいせつ行為の根絶 全職員に「私の体罰根絶宣言」を書かせることにより、圧倒的な当事者意識になって考えることを再確認することができた。					
11月	実施テーマ	生徒への言葉かけの注意点の確認 いじめ根絶に向けて			
<u>取組の評価・改善点</u> 青少年教育センター所長「川口貴晴先生」を講師として全職員に向けていじめ根絶に向けていじめについての認識の確認を行った。 また、生徒同士、教師、生徒間の言葉の使い方について研修を行った。「リフレーミングでの言葉かけ」 その後、毎週金曜日の生徒情報交換の中で実践できるように取り組みを行った。					
3月	実施テーマ	情報セキュリティーポリシーの確認 成績処理・年度末業務におけるコンプライアンス			
<u>取組の評価・改善点</u> 進路事務、成績処理の中でミスが起こらないようにするためのシステムの研修を再度行い、全職員で確認した。 情報セキュリティーに関する研修を行い、佐世保市のセキュリティーポリシーを再度全職員で確認し、職員個々の危機管理意識を高めることができた。 新聞報道等の事例を用いて当事者意識に立って物事を考えることができた。					
2 服務規律委員会					
委員会名	服務規律委員会、ハラスメント防止対策委員会				
構成員	所属内委員（5名）、外部委員（1名 役職等：PTA会長）				
3 年間を通しての計画の達成状況					

年間を通しての取組状況チェックリスト

- (1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）

ア	イ	ウ	オ	キ	ケ				
その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）									

- (2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。  
※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 少し不十分	<input type="checkbox"/> できなかった
---------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

- (3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 少し不十分	<input type="checkbox"/> できなかった
---------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

- (4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 不十分だった	<input type="checkbox"/> 実施していない
---------------------------	--------------------------------	---------------------------------	----------------------------------

資料添付 有 ・ ○ 無

<実施結果報告書作成に関して>

※ 様式枠の大きさは適宜変更してください。

※ 各所属で作成された資料等があれば、県内の学校への取組事例紹介等に活用するため、積極的に添付してください。また、添付資料を含め電子メールで送信されても結構です。

別表 校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）

校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。

校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。

【工夫（例）】

ア 運営の工夫

- ・管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。

イ 具体的な事例の紹介

- ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。

ウ 外部講師を招いての講話

エ 体験的な研修

- ・ロールプレイを取り入れる。

オ グループ討議

- ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。
- ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。

カ ワークシートの作成

- ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。

キ チェックリストを作成

- ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。

ク ファイリングして保存

- ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。
- ケ 決意表明
- ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。
- コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組
- ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。